

製造業・建設業・飲食業のための



長期雇用につながる

外国人雇用研修

講師紹介



Nose Yukiyo

社長のための経営事務所 所長
中小企業診断士・日系アメリカ人
大阪公立大学非常勤講師
経済産業省認定経営革新等支援機関

経歴

ハーバード大学大学院卒業
国際連合 地域事務所長
アメリカ商社経営(ホワイトハウス事業)
東京大学・大阪大学でも講義

■専門分野:経営革新、経営戦略策定、財務、人事、営業、マーケティング、輸出・海外展開

■研修:東京大学・大阪大学でも講義。参加型・体験型研修が人気。楽しい・面白い・わかりやすいと好評。

■コンサル:現場主義。経験に基づくアドバイス+経営者に寄り添った伴走支援でリピート続々。

プログラム

1. 在日外国人社員の「生の声」を探る
 - ・ 海外と日本の「仕事」に対する考え方の違い
 - ・ マナーの奥にある文化を理解【グループワーク】
2. マネージメントの違いと上司との関係
 - ・ こんなに違う、上司との関係(海外vs日本)
 - ・ 報連相って? + 電話・メールのルールは?【ロールプレイ】
3. 日本職場マナーのABC
 - ・ 時間感覚ってこんなに違うんだ!【ケーススタディ】
 - ・ 何とややこしい! 名刺交換、お辞儀、席順、会議の発言、名前の呼び方【ロールプレイ】
4. 異文化コミュニケーション
 - ・ 外国人にわかりにくい非言語コミュニケーション
 - ・ 知らないと大変! 敬語とその他のNG言葉【演習】
 - ・ 電話対応、接客対応に挑戦!【ロールプレイ】
5. 文化理解で楽しい職場に
 - ・ 危機対応:事故・病気・職場トラブル
 - ・ 同僚とのマナー+仕事術【シミュレーション】
6. 職場に「溶け込む」ための5つのマナー
 - ・ 電車・ゴミ・トイレ・昼食・休憩時間【グループワーク】
 - ・ 職場になじむための潤滑油会話【ロールプレイ】

対象者

- ・ 外国人採用企業経営者・人事担当者
- ・ 特定技能・技能実習生 N1~N3

こんな結果が得られます

- 海外と日本の業務意識・文化・マナーの違いを体感する
- 日本と海外の職場ルールの違いと異文化コミュニケーションをマスターする
- マナーの奥にある文化、考え方、仕事への人生観の違いを、理解を通して学ぶ
- 経営者・従業員ともに理解が深まり、外国人雇用が長期雇用につながる

セミナーの特長

海外から来られた方に、マナーだけを教えても、長期雇用には繋がりません。マナーの根底にある「文化、コミュニケーション、考え方」を「理解」してもらうことが、長期雇用に繋がります。

「外国人視点」の職場ルール・マナーが、在日外国人講師から、講師自身の来日時の驚き体験などから、わかりやすく解説されます。言語・風習・コミュニケーションの違いの奥にある「考え方の違い」が、「外国人にわかりやすい言葉」、実例、演習で、体感・理解できます。

報連相、職場マナーに加えて、非言語コミュニケーション、上司関係、職場トラブル防止・解消、など、日本の職場での仕事術と職場マナーが、包括的に学べます。

お問い合わせ



社長のための
経営事務所

